

点灯式で太陽光発電を
祝う園児ら(京都市伏
見区・つくし保育園)

太陽光発電

「エコ」身近に考えよう



点灯に園児「すごい」

太陽光発電の点灯式が二十三日、京都市伏見区醍醐柏森町のつくし保育園であった。太陽光発電の照明で、園児が積み木で作ったツクシをライトアップし、設備の完成を祝った。

太陽光発電の普及を進めるNPO法人(特定非営利活動法人)「きょうとグリーンファンド」と同園が地元企業の協力を得て、約九百万円で家庭用太陽光パネル六十四枚(発電能力約四・五キロワット)を屋上に設置した。

伏見・つくし保育園 屋上に完成、祝う

点灯式には、約百人が出席した。保護者が人形劇で地球温暖化防止を呼び掛け、園児が合唱した。電気を消した室内で、太陽光で発電した光に積み木が浮かび上がると、子どもは「すごい」と喜んでいった。

日常生活の中で子どもにも節電の習慣を身につけてもらおうと、きょうとグリーンファンドが設置した発電設備は京都市や城陽市で十一カ所目になった。(広中孝至)